

環境科学研究所の概要

「豊かな水・緑環境」「安全・安心な生活環境」を次世代へ伝えるため、環境行政の基盤となる、総合的かつ科学的な調査研究や政策提案を行い、多様な環境課題の解決につなげます。

【試験検査・環境危機管理対策事業】

水質汚濁調査、大気調査、地下水環境に関する調査、アスベスト調査、化学物質リスク調査、放射能測定、水質事故の原因究明、酸性雨測定、地盤情報、マイクロプラスチック調査

【都市の暑さ対策調査研究事業】

市内気温観測、グリーンインフラなどの暑さ対策の効果検証、庁内に向けた技術支援

【生物多様性保全推進事業】

生物生息状況調査、生物多様性に関する研究
生物環境情報整備、特定外来生物に関する調査

【豊かな海づくり事業】

山下公園前海域におけるモニタリング調査、実装に向けた取組、環境教育

【沿革】

- 1971年6月 公害対策局が発足
- 1976年4月 横浜市磯子区にて公害研究所を設置
- 1991年6月 環境保全局に改組し環境科学研究所に名称変更
- 2005年4月 環境創造局に改組
- 2015年4月 所在地を横浜市神奈川区に移転
- 2024年4月 みどり環境局に改組

施設見学

環境科学研究所では、研究所の業務を広く理解していただくことを目的として、研究所の施設、実験結果、実験装置、分析装置などを公開する施設見学を実施しています。
詳細はお問合せください。

表紙の写真 上段：カラスアゲハとノアザミ
下段：ギンヤンマの産卵

交通アクセス

JR京浜東北線・根岸線：「新子安駅」下車徒歩15分
京浜急行線：「京急新子安駅」下車徒歩15分
市営バス19系統：「新子安駅前」乗車、「恵比須町」下車徒歩3分



横浜市みどり環境局環境保全部 環境科学研究所

〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町1番地
澁澤ABCビルディング1号館5階

TEL: 045-453-2550 (代表)

FAX: 045-453-2560

E-mail: mk-kanken@city.yokohama.lg.jp

ホームページはWEB検索または二次元コードから



横浜市環境科学研究所

検索

横浜市環境科学研究所

Yokohama Environmental Science Research Institute

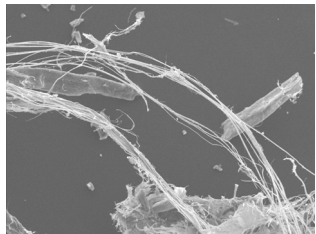


KanKen

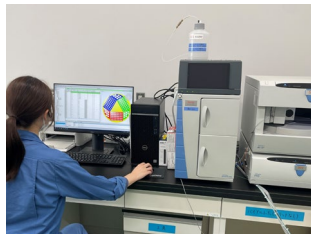
令和7年6月

試験検査・環境危機管理対策

工場排水、大気環境中の有害化学物質やアスベスト等の試験検査のほか、河川の水質調査やマイクロプラスチック調査などを行っています。



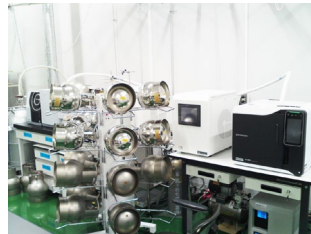
アスベストの電子顕微鏡画像



水質分析



マイクロプラスチック調査



大気分析機器

地盤環境

地盤沈下の常時監視、地下水位の定点観測の結果について横浜市WEBで情報提供を行っています。また、地盤情報の収集・整理を行っています。



地盤観測所メンテナンス



地下水位・地盤収縮量の情報提供

地下水位 横浜市

検索

豊かな海づくり

山下公園前海域において、生き物の生息環境改善による生物相や水質浄化に関するモニタリング調査を実施し、生物生息状況の改善効果の確認等を行っています。



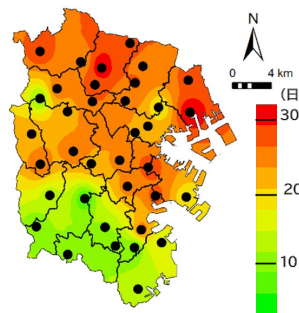
山下公園



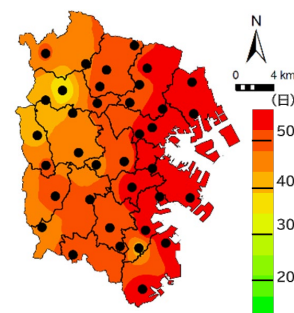
貝やヒトデが生息

都市の暑さ対策

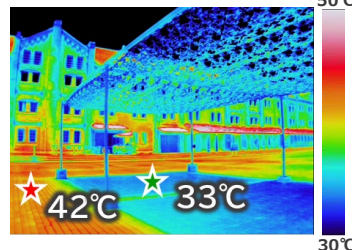
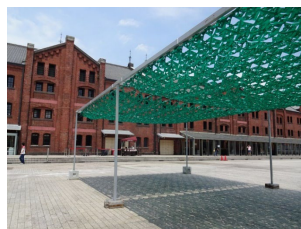
地球温暖化・ヒートアイランド現象により厳しさの増す横浜市内の暑さの状況把握のため、市内36か所で夏の気温観測を実施しています。また暑さ対策技術の効果検証など、熱環境調査を行っています。



2024年7～8月の猛暑日数
(1日の最高気温が35℃以上の日)



2024年7～8月の熱帯夜数
(夕方～翌朝の最低気温が25℃以上の夜)



横浜赤レンガ倉庫でのフラクタル日除けの効果検証

生物多様性

陸域・水域の生物生息状況モニタリング調査を継続して実施するとともに、公園内の池や源流域の生き物調査等を行っています。また、横浜市内の小学生を対象とした生き物調査を行っています。

海域の生き物



マコガレイ(上)とイシガレイ(下)

河川域の生き物

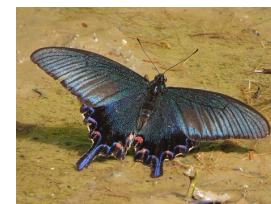


サワガニ

陸域の生き物



フデリンドウ



カラスアゲハ

池の生き物



モツゴ



テナガエビ

環境教育

環境教育出前講座への講師の派遣や、夏休み期間の小学生を対象とした「夏休み子ども環境科学教室」を実施しています。



出前講座



夏休み子ども環境科学教室